



# 北部教育研修センター

(北部教育研修センター実証実験事業)

## センターだより第9号

令和2年 10月20日(火)

沖縄県名護市字為又 1220-146  
北部教育研修センター

発行責任者  
センター長 高安美智子

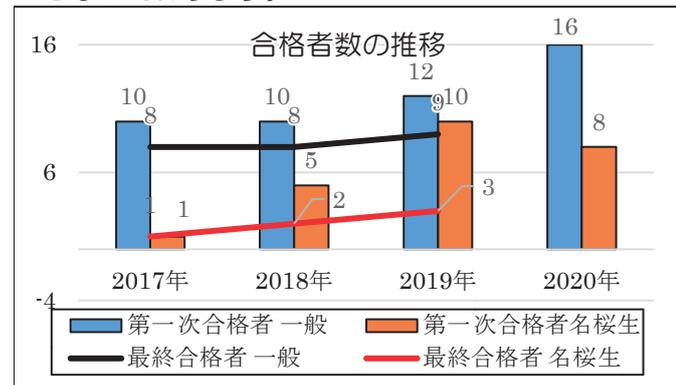
今年度は北部教育研修センター実証実験事業の最終年度となりましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため急遽研修の中止または延期が相次ぎ、研修計画を大幅に変更しながら進めて参りました。

オンラインによる研修も実施しながら、7月から大学の新型コロナウイルス感染防止ガイドラインに従って、対面での研修が実施できるようになり、5月に予定していた「授業づくり強化月間」を7月に延期することで8科目の教科研修を実施することができました。

新型コロナウイルス感染拡大防止対策により、これまで以上に多忙化したといわれる学校現場の声も聞かれましたが、前半はこれまで延べ315人の研修参加者と、教員養成講座への1046人の参加がありました。

後半も予断を許さない状況は続きますが、可能な研修を企画・推進していきたいと模索しているところです。

※2020年度実施の教員候補者選考試験第一次試験の受講者の合否状況は、一般16人、名桜学生8人、計24人が第一次試験に合格し、第二次試験を無事終了いたしました。最終合格発表は10月末の予定となっております。



### ◆ 前期の研修実施状況

実施	研修項目	参加者
5/28 (木)	養護教諭の研修会(小・中・高) 講師:大城真理子(名桜大学上級准教授)	28人
7/9 (木)	ミドルリーダー研修会 講師:高安美智子(名桜大学特任教授)	13人
7/13 (月)	授業づくり研修会(中学校社会) 講師:渡久地政孝(本部中学校校長)	10人
7/15 (水)	授業づくり研修会(小学校校社会) 講師:森元幹生(元金武中学校校長)	6人
7/16 (木)	授業づくり研修会(中学校英語) 講師:阿波根明美(宜野座中学校教頭)	7人
7/17 (金)	授業づくり研修会(小学校理科) 伊芸 剛(大宮小学校教頭)	4人
7/20 (月)	魅力ある広報誌づくり研修会 講師:仲地暁(ヒューマンパル高等学校長)	10人
7/20 (月)	教員養成講座2次試験対策スタート 模擬面接・模擬授業・小論文	31人
7/21 (火)	授業づくり研修会(小学校算数) 大城覚(北部教育研修センター特命准教授)	10人
7/22 (水)	授業づくり研修会(小学校国語) 講師:謝花しのぶ(名護小学校教頭)	19人
7/27 (月)	授業づくり研修会(中・高数学) 講師:高安美智子(名桜大学特任教授)	6人
7/28 (火)	臨時的任用教職員研修会(養護教諭) 講師:荻堂かおり(名護中学校)・新城敦	5人
8/3 (月)	臨時的任用教職員研修会(保健体育) 講師:大城正章(今帰仁中学校校長)・新城敦	4人
8/28 (金)	生徒指導・学級経営オンライン研修会 講師:栗原慎二(広島大学教授)	77人 校内研
9/10 (木)	オンライン授業づくり研修会 講師:中里収、佐久本功達、草野泰宏 上門要、天願健(名桜大学教授、他)	7人
9/18 (金)	道徳教育講演会 講師:鈴木健二(愛知教育大学 教授)	50人
9/24 (木)	スーパーティーチャー示範授業(遠隔授業) 講師:佐藤 学(秋田大学教授)	28人

### 2020年度教員養成講座・各教科合格者の割合

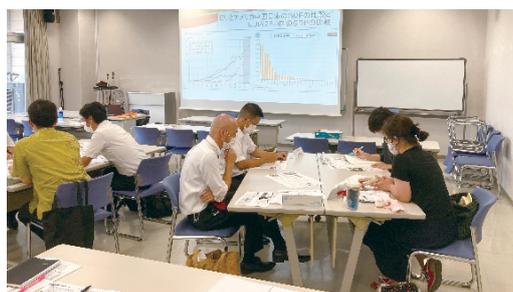
2020年10月14日現在

教科	受講者数(人)※1. 合計(一般+名桜生)	合格者数(人) 合計(一般+名桜生)	合格率(%) 合計(一般+名桜生)	最終合格 未発表
小学校	11(10+1)	6(5+1)	54.5	*
数 学	6(6+0)	2(2+0)	33.3	*
英 語	9(8+1)	4(3+1)	44.4	* 茨城県1人合格
社 会	7(7+0)	2(2+0)	28.6	*
保 健 体 育	12(4+8)	4(2+2)	33.3	* 大分県1人合格
養 護 教 諭	12(4+8)	6(2+4)	50.0	* 三重県・長崎県各1人合格
美 術	1(1+0)	0	0.0	
計	58(40+18)	24(16+8)	41.4	現在4人の合格を確認

※ 講座を受講した名桜生で最終合格者2名(県外)の報告がありました。

## 2020年度 前期研修報告②

研修名	授業づくり研修会【中学校 社会科】
日時・会場	2020年7月13日(月) 16:00~17:30 北部生涯学習推進センター(研修室)
研修の目的	中学校社会科の授業づくりにおいて、新学習指導要領改定のポイントを理解し、社会科の授業づくりや教科経営を学び、社会科の授業力を高める。
テーマ	「社会科の授業づくりの実践と解説」
講師名	渡久地 政孝 本部町立本部中学校 校長
研修内容	<p>1 地理の授業づくり</p> <p>①問いが生まれる授業サポートガイドを参考にした導入の手法 ②事例検討 ③コンパクトでインパクトのある導入にするために ④各自導入を考える 3つのグループで代表者が導入の模擬授業を行う ※模擬授業の準備・・・グループで検討 ※模擬授業実践・・・代表2名 ※振り返り・・・グループで改善点検討</p> <p>2 歴史の授業づくり</p> <p>①展開部分のバリエーション紹介 ア 教材提示の手法(動画) イ 資料読み取りの手法 ウ グループ学習の手法 エ 思考ツールの紹介 オ その他</p>
成果/活用策	<p>○導入での子ども達の「なぜだろう!？」を大切にしたい。資料読みとりの際の視点の焦点化と、具体的なポイントが出せるように自分自身がしっかりと資料を読み込みたいたと思いました。</p> <p>○明日からの授業にまずは生かします。グラフの「資料」や発問の焦点化を心掛けます。導入は、コンパクトでインパクトのあるものを心掛けます。</p> <p>○要点はどこなのか?生徒に学ばせたいのはどこなのか、その為にどういふ発問をしたらいいのか、そのタイミングはいつなのか・・・もっとあるんですが、全部が自分に無いもので非常に勉強になりました。</p> <p>○資料活用の方法の手だてについて、大変参考になった。例えば、資料を出すときには、視点、資料の名前等、資料について、まず、じっくりと確認することが大切だと再度、認識した。</p> <p>○導入時の資料の使い方、視点を絞り、何を考えさせたいかを意識して授業づくりを行うということを改めて考えさせられました。</p> <p>○他の人の授業を見るのは勉強になります。こういった研修会の場合なら今回のように短い時間で、資料の検討、組み立て、実践、振り返りという流れが良いなと感じました。焦点化して実践的な研修ができるので若手の先生方として、経験のある程度ある先生にとっても勉強になるなと感じました。○グループ内での意見(シェア・共有)交換をもっとしたかった。資料の活用の仕方から別の資料へつなげる流れ(方法)がとても興味深く勉強になりました。</p>
感想/要望	<p>○めあての導入方法で、生徒が「なぜ」と考える、渡久地先生なら、というめあての文言が勉強になりました。どういうめあてにするかということ、より深く考えていきたいです。</p> <p>○展開では、思考ツールを活用することで、子ども達の考えなどを整理する時間をしっかりつくるのが大事だと再確認した。普段、まとめから振り返りまでたどり着かない事も多く「まとめ」が重要なことを再認識しました。</p> <p>○先生方の貴重な授業づくりの方法を間近で伺えて、とても良い機会でした。グループの中で、作業的な活動を入れること(地図帳をしっかりと活用)、資料でどこを読みとってほしいか、視点をしっかりとつことの大切さを知りました。とても勉強になりました。ありがとうございました。</p> <p>○このような授業づくりの為の研修をもっと増やしていただけると嬉しいです。</p> <p>○北部での研修の機会が増えていったらいいなと思います。</p>



研修名	授業づくり研修会【小学校 社会科】
日時	2020年7月15日(水) 16:00~17:30
研修の目的	小学校社会科の授業づくりにおいて、新学習指導要領改定のポイントを理解し、社会科の授業づくりや教科経営を学び、社会科の授業力を高める。
テーマ	「新学習指導要領を踏まえた社会科の授業づくり」
講師名	森元 幹生 金武町立金武小学校 元校長
会場・場所	北部生涯学習推進センター（研修室）
研修内容	◎社会科の学習評価 ◎板書計画 ◎ワークシートの活用 教科書に掲載されていない単元 ～地域教育資源活用の例（當山久三）～ ◎ICT 活用の学習
成果／活用策	○社会科になると教科書を中心に授業を進めていくため退屈な授業になってしまうが、ICT を活用したり、子ども達の興味を引くような授業をしていきたい。 ○教科書以外での教材活用が CM やネット、本など、色々に有ることを知ることができました。 ○子ども達の意欲につながる導入の仕方がとても良くわかりました。ただ資料を出すのではなく、子ども達がわかること、知りたいことを先に出すことで授業への興味・関心につながると感じました。 ○板書の仕方、ワークシートの活用、児童生徒の興味を引く資料の活用、ICT の活用の仕方など。
感想／要望	○楽しい、そしてわかる授業を展開するためには教師の授業の工夫が大切であること。現代にあわせた授業をすること（ICT, NHK for school）※主体的に学べるよう工夫していきたい。今日は本当にありがとうございました。 ○コロナの影響で授業時間の短縮の中、何を大事にするのか重きをおくのか悩んでいましたが、「指導と評価の一本化」がポイントになることがわかりました。 ○NHK for school の活用等も積極的に行いたいと思いました。これから修学旅行があるので、それに向けた調べ、学習の取り組み方も知ることができ、とても良かったです。有意義な時間を過ごすことができました。ありがとうございました。 ○社会とキャリア教育、総合をつなげた修学旅行、そして、まとめ、発表など、今年取り組みたいことのNo1でした。ありがとうございます。 ○修学旅行にいくまでの社会科の学習の持っていく方がとても印象に残りました。できれば中川小学校でも取り入れたいと思いました。 ○自分の今のレベルのことをできるようにする。教材研究の大切さ。 ○色々な資料の提供。
	 

研修名	授業づくり研修会【中学校 英語】
日時	2020年7月16日(木) 16:00~17:30
研修の目的	中学校英語の授業づくりにおいて、新学習指導要領改定のポイントを理解し、英語科の授業づくりや教科経営を学び、英語科の授業力を高める。
テーマ	「英語科の授業づくりの実践と解説」
講師名	阿波根 明美 宜野座村立宜野座中学校 教頭
会場・場所	北部生涯学習推進センター（研修室）
研修内容	①新学習指導要領 外国語科の改訂のポイント ②全国学力・学習状況調査の問題から英語教師としてどう指導するかディスカッションする ③中学校の外国語教育はこう変わる ④新学習指導要領の実現のために「授業観・指導観・生徒観」 ⑤質疑、情報交換
成果／活用策	<p>○活用策として、タブレット配布が計画されているので年計を元に発表についての単元を再編成し、そこで宜野座中での実践を活用したいです。</p> <p>○理論から実践まで分かりやすく説明してもらえました。生徒から質問が出るような授業づくりを今一度考え直したいと思います。そのための計画、積み重ねを意識し、生徒が成長を実感できるように工夫します。</p> <p>○今まで（ ）のあるプリントを作成したり、台本ありのDailyTalkをしてきて、それが深みの無いものだと思感しました。生徒たちも自分のことを伝える時はとても楽しそうだったことを思い出し、もっとその様な時間をつくれればよかった後悔し、これから（明日から）の授業を早速、見直したいなと思います。</p> <p>○はじめに何回も練習させて、理解させてから活動へ入らせるものと思っていたが、まずは生徒にさせてみるということを取り入れたい。分からない生徒の何が分からないかを大切にしていけることが大切だと思った。</p> <p>○たくさん練習させて使わせるのではなく、まず生徒にさせてみる。困り感やできないことを周囲に聞いたり、調べたりする中で自分に必要な知識を得ることができる。まずは「使ってみる」、「使わせる」を取り入れたい。</p> <p>○子ども達に「型にはめた対話」ではなく、「自分たちで試行錯誤し、時にはつまづかせる」ことで、対話が深まり、子ども自身が伝え合う、本当の学び合いにつながるのだと感じました。文法指導もパターンプラクティスになりがちだったところをとにかく活動させてみるという思い切った指導をどんどん実践していこうと思いました</p>
感想／要望	<p>○タブレットを使った授業実践はとても参考になりました。ぜひ取り入れていきたいです。また、学習指導要領でのポイントは非常に分かりやすく自分の授業の中でどう活かしていくか少し授業全体を見直してみます。</p> <p>○生徒のつまずきを予想し、どうすればつまずかないかを考えるのではなく、どのようにつまずきを利用するかが肝心だと感じた。どの授業も生徒が学びに向かえる環境や風土を作ることが大切だと感じました。</p> <p>○生徒中心の授業を作る。生徒自身に考えさせ、表現させることで彼らに力がついていく、苦手な生徒でも活動できる工夫がされていて自分の授業にも活かしたい。</p> <p>○正解やモデルを見せずに話させたり、書かせたりさせるのは不安があるけど、自分で調べたりして必要なものを見つけさせてあげることが大切。自分の言語活動のワークシートやスモールトークは枠だらけなので見直したい。</p> <p>○ I would like to make the best use of what I've learned today for my English classes.</p> <p>○評価についての研修があればと思います。次年度からの授業作りにとっても結びつくので、今年度中にできればと思っています。</p> <p>○今回のような研修があるとまた参加したいです。</p> <p>○他にも実践事例などが学べる研修をお願いしたいです。</p>



研修名	授業づくり研修会【小学校 理科】
日時	2020年7月17日(金) 16:00~17:30
研修の目的	小学校理科の授業づくりにおいて、新学習指導要領改定のポイントを理解し、理科の授業づくりや教科経営を学び、理科の授業力を高める。
テーマ	「理科の授業づくりの実践と解説」
講師名	伊藝 剛 名護市立大宮小学校 教頭
会場・場所	北部生涯学習推進センター（研修室）
研修内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 自己紹介</li> <li>2 私の実践、県教委の資料から <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業像を共有→こういう授業を…</li> <li>・子供達と評価基準を共有</li> <li>・理科の約束</li> <li>・理科ファイルの活用(目標を決めて表紙に記入)</li> </ul> </li> <li>3 学習指導要領改訂のポイント</li> <li>4 授業づくり(5学年 ふりこのきまり)</li> </ol>
成果／活用策	<p>○教科経営における視点について考えさせられた。今一度、振り返って二学期をスタートしたい。</p> <p>○学級開きのように教科開きを行うことに興味をもちました。</p> <p>○児童のテスト後の自己・他己評価は今までしたことがなく、取り入れたいと思った。</p> <p>○理科改訂のポイント→資質・能力(観点)について、とても分かりやすかったです。授業における展開方法(理科の見方、考え方)</p>
感想／要望	<p>○理科の授業で、目指す授業像を子ども達と共有することが大切であると感じた。二学期から取り入れたい。</p> <p>○今後、理科や他教科における評価の方法→よい子のあゆみにおける表記、特に主体的に学習に取り組む態度(自己の学習を調整しようとする側面を授業の中で、どう見取るのか今後は考えていきたい。</p> <p>○理科における「見方・考え方」を意識して授業実践していきたいと思いました。</p> <p>○「主体的に学習に取り組む態度」の評価では、もっと教員側からの手立てが必要であると気づかされた。</p> <p>○研修内容が予め明記されていると事前に準備(勉強)して研修に臨めたかなと思いました。今日はありがとうございました。</p> <p>○理科の授業づくり、今日の研修を参考にしながら、もっと教科研究を深めていきたい。</p> <p>○単元をしばって、みんなで単元指導計画や指導案づくりをするなど、やってみたいです。</p>



研修名	授業づくり研修会【小学校 算数科】
日時	2020年7月21日(火) 16:00~17:30
研修の目的	小学校算数科の授業づくりにおいて、新学習指導要領改定のポイントを理解し、算数科の授業づくりや教科経営を学び、算数科の授業力を高める。
テーマ	「新学習指導要領を踏まえた算数科の授業づくり」
講師名	大城 覚 (北部教育研修センター)
会場・場所	北部生涯学習推進センター(研修室)
研修内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎新学習指導要領における算数科の目標</li> <li>◎算数を学ぶよさ</li> <li>◎「はらはら、わくわく、ときどき」がある授業の導入</li> <li>◎実際の授業づくりの紹介(2年生の分数、5年生の小数のかけ算・わり算の意味指導)</li> <li>◎授業づくりの実践</li> <li>◎まとめ</li> </ul>
成果/活用策	<ul style="list-style-type: none"> <li>○個人差のある子ども達への指導について、他の学校の先生方と話し合いができて良かった。</li> <li>○授業の導入において「はらはら、わくわく、ときどき」がある導入のつくり方を学ぶことができました。</li> <li>○学習指導要領のポイントから授業づくりのヒントを得ることができました。</li> <li>○最初に困ったことを出し合うことで、自分の課題が見えたので、その後とても講話の内容がおちてきました。しっかり意味を理解させること(形式的ではなく)を大切にしたいと思いました。</li> <li>○他校の先生方と情報を共有することで、いろいろと自分自身も見つめ直す機会となった。</li> <li>○現状(うまくいった・困りごと)からスタートし、授業づくり(途中で出て来たアイデアを共有できるとよかった)まですることができた。</li> <li>○授業の導入で「はらはら、わくわく、ときどき」がある導入をできるようにしたいと感じました。子ども達から「問い」を引き出せるようにしていきます。</li> <li>○子ども達が楽しいと思えるような授業をしていけたらと思いました。</li> </ul>
感想/要望	<ul style="list-style-type: none"> <li>○久しぶりに研修を受けて考えることを見つけられました。</li> <li>○とてもいい時間でした。来週の教材研究、他社の教科書と指導要領を見ながら楽しくできました。また参加します。</li> <li>○ぜひ、算数や他教科の研修を学期に一度やってほしい。</li> <li>○こんな機会が定期的にあると良いと思いました。例えば、学年別・領域別とか気軽な勉強会になると良いと思います。</li> <li>○今後も北部で研修をおこなっていただきたいです。</li> </ul>
	

研修名	授業づくり研修会【小学校 国語科】
日時、場所	2020年7月22日(水) 16:00~17:30 北部生涯学習推進センター(研修室)
研修の目的	小学校国語科の授業づくりにおいて、新学習指導要領改定のポイントを理解し、国語科の授業づくりや教科経営を学び、国語科の授業力を高める。
テーマ	「新学習指導要領を踏まえた国語の授業づくり」
講師名	謝花 しのぶ 名護市立名護小学校 教頭
研修内容	<p>1 小学校国語科の学習指導要領の概要を知ろう</p> <p>2 国語の授業づくり</p> <p>①言語活動の充実のための4つのステップ</p> <p>②ステップ1~ステップ4</p> <p>3 授業実践紹介</p> <p>①言語活動のモデルを教師自身が!</p> <p>②5年生「町じまん」を推薦しよう</p> <p>③わくわくするような単元名の設定「伊江島に届け! 名護の魅力にズームイン!」</p> <p>④読むこと「けむりのきしゃ」「すすめのくらし」「並行読書」の推進</p> <p>4 参加者の交流・発表</p>
成果/活用策	<p>○言語活動の充実のための4つのステップ、わくわくするような単元名の設定(いつも悩んでいるので参考になりました。)</p> <p>○単元の実践事例がとても分かりやすかった。ICTを活用した実践。</p> <p>○教師が意識して言語感覚を磨くこと、言語環境を整えることの大切さ、授業を見る際の視点の一つにしたい。</p> <p>○授業の進め方や子どもの意欲の引き出し方について参考になりました。交流の進め方についてもヒントがたくさんあったので、生かしていきたいと思います。</p> <p>○交流の良さを伝え、交流させる中で実感させ、経験を重ねていくことを実践していこうと思いました。</p> <p>○言語活動についての教師がモデルを見せる大切さを改めて感じました。子どもに学ぶ意義を感じさせ、学習の意欲につなげられたらと思いました。</p> <p>○ペア学習の大切さ、お互いに学び合うことができる子の育成にとっても大切だということ。毎日の積み重ねが大事だということ。言語環境を整えて取り組みたいと改めて感じました。</p> <p>○並行読書は個人的にも大切にしたいと思っているので、今後も取り組みたいと思いました。教師のモデルも計画的に作成していきたいと思いました。</p>
感想/要望	<p>○主体的な学びに向けて、相手意識、目的意識を明確にする大切さを改めて確認できました。Zoomを活用した授業等、面白い実践事例を紹介して頂けて、今後の授業づくりに生かしたい意欲が高まりました。</p> <p>○ICTを活用した交流授業が面白い。いろんな工夫をしていることを感じた。</p> <p>○特に国語は積み重ねが大切ということで1年のうちから言語環境を整え、交流も多くさせたいと思った。漢字指導をどこでとったらいいのか悩むところです。</p> <p>○導入での教師のモデルの示し方、その大切さ。成果物にこだわり過ぎない。</p> <p>○学年・学級(チーム)で取り組んでいる名護小の取組がとてもすばらしいと思います。</p> <p>○交流のさせ方(目の前の児童が今持っている力を見極めて、それに合った指導をする。)職員で一丸となって、国語教育に取り組みます。</p> <p>○対話的な学び、言語活動が少ないので、みんなで交流することが子ども達の考えを広げたり、深めたりすることが分かった。教師だけの一方通行にならないようにしていきたい。学習の出口には個人差があり、難しくなるのでペア活動も取り入れていきたい。</p> <p>○対話的な学びについて、自分の今の学級の課題と照らし合わせて考えることができました。交流の目的をしっかりと教師が伝え、その交流する良さを伝え続けることが大切だと分かりました。ちょっとしたことだけれど、それが学びを深めることにつながると感じました。</p> <p>○「Zoom in」がとても興味深かったです。いつか取り組んでみたいです。</p>



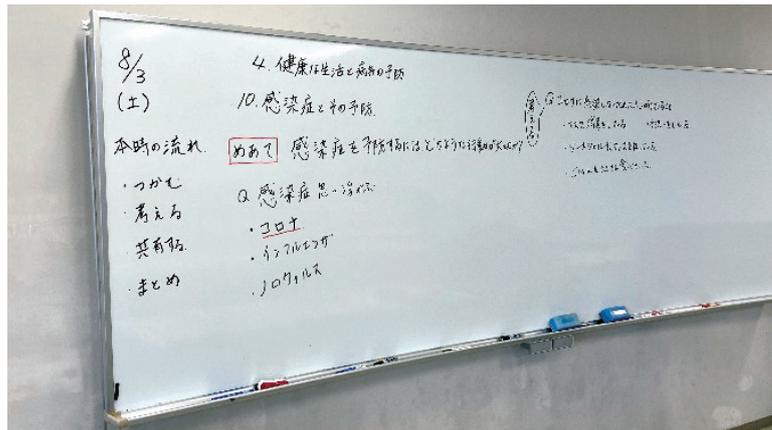
研修名	授業づくり研修会【中・高 数学】
日時、場所	2020年7月27日(月) 16:00~17:30 北部生涯学習推進センター(研修室)
研修の目的	数学科における新学習指導要領の改訂のポイントについて理解を深め、統計分野の教材作り及び指導のポイントを学ぶ。
テーマ	「学習指導要領の改訂のポイント 統計分野をどのように指導するか」
講師名	高安 美智子 名桜大学特任教授
研修内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 生徒の学ぶ意欲と教師の授業力について(県立総合教育センターの調査結果)</li> <li>2 数学科における新学習指導要領の改訂のポイント</li> <li>3 大学の数理・データサイエンス教育強化方策について</li> <li>4 なるほど統計学園の紹介 <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生のための統計学習「学ぼう統計」の活用</li> <li>・統計グラフをつくろう</li> <li>・小学校の統計ってどんなことを学ぶの?</li> <li>・中学校の統計ってどんなことを学ぶの?</li> </ul> </li> <li>5 高等学校数学「データ分析」箱ひげ図が中学へ移行 <ul style="list-style-type: none"> <li>・エクセル活用 棒グラフ、ヒストグラム、箱ひげ図</li> </ul> </li> <li>6 正規分布と相対評価</li> <li>7 新型コロナウイルスのPCR検査の陽性率の求め方と結果の解釈</li> </ol>
成果/活用策	<p>○統計の重要性が言われているので、統計の指導に力を入れなければならないことが解りました。</p> <p>○身近な例をうまく活用できれば生徒も楽しくやれると感じます。PCR検査の話はとても良い例だと思います。</p> <p>○統計の領域は、新学習指導要領の中において厚みが増した部分ということで、今後、現場の先生方とやりとりをする上で、資料提示の方法や選び方などとても参考になりました。</p> <p>○統計の大切さなど、多方面から考えることができたこと。言葉を大切にしたい。聞き手の意識で質問してあげることの大切さが解りました。</p> <p>○生徒が分かるような言葉がけが大切だと感じました。エクセルを活用していろいろな授業ができることが解った。</p> <p>○データの活用でどんな資料を使うか悩んでいたが、今回の研修でエクセルの使い方とか、データとか学べたので実践してやってみたい。</p> <p>○箱ひげ図は、中学校2年で学習するので数学の先生方で教材研究をしていきたいと感じました。エクセルを使って授業をすることができたら面白いなと思いました。</p>
感想/要望	<p>○教科書やノートを持ってこない生徒の指導(生徒指導)で苦労しますが、エクセルやWebの力を借りて授業すると生徒の興味を引くことができるかなと思いました。</p> <p>○統計分野が得意だという教師は、私も含め少ないと思います。その中で統計分野を中心とした研修会を開催していただいたことに感謝です。</p> <p>○「数学は美しさではなく厳しさ・・・」。</p> <p>○わかる授業が大切なのは正答率を上げるためだけでなく、根本には「やる気」、「意欲」の向上をねらうことにあるという意識が授業づくりでは大切である。(PCR検査のところは面白かったです。)</p> <p>○意欲を高めるためにわかる授業を実践することが重要であること、わかる授業を実践するために生徒が言葉の意味を理解して問題の解決に向かうようにすることが大切だと感じました。教材より熱意が大切のワードが印象に残った。</p> <p>○言葉の意味をしっかりと教え、何回も繰り返し授業で確認することで自然と定着させていく。</p> <p>○生徒の学習意欲について、実際の授業の支援に入ってどうしたら良くなるか考えていたので、とても勉強になりました。生徒を引きつけるための教材研究を考えていきたいと思いました。</p> <p>○夏休み期間中が良かったのですが、今回はコロナで夏休みがありません。</p> <p>○統計分野に関する研修(中学校教師対象)をお願いしたいです。</p> <p>○多変量解析なども勉強してみたいです。「数学」を勉強したくなりました!ありがとうございました。</p>



日 時	2020年7月28日(火) 16:00~17:30
研 修 名	臨時的任用研修会【養護教諭】模擬授業
研修の目的	養護教諭の教員採用二次試験対策の模擬授業を実施し、略案の作成方法や模擬授業のポイントを学ぶことで、養護教諭の指導力を高める。
テ ー マ	養護教諭の「模擬授業づくり」講義と演習
講 師 名	荻堂かおり 名護市立名護中学校 養護教諭 新城 敦 北部教育研修センター 特命准教授
会場・場所	北部生涯学習推進センター（研修室）
研修内容	1 模擬授業作成に当たって 荻堂かおり（名護中学校 養護教諭） ①保健管理 ②めあて、まとめ ③問いが生まれる授業の工夫 2 実践事例の紹介 3 模擬授業のポイント 新城 敦（北部教育研修センター） 4 効果的な模擬授業とは 5 演習（模擬授業の構想を立てる） ①本時の目当てとまとめの構想 ②めあての提示・・・実践 6 情報交換及び質疑応答
成果／活用策	<p>○略案の作成は参考になりました。資料を活用して略案をいくつか作成したい。</p> <p>○二次対策は不安な事が多く、何から準備したら良いのか困っていたので、模擬授業の進め方、構想の仕方などを教えてもらうことができ少し安心しました。</p> <p>○かおり先生の模擬授業についてのお話や、日常の業務の中での保健指導。（女子力アップ授業、尿検査等々）</p> <p>○自分のパターンをつくること。まずは指導案をつくってみることからやってみようと思いました。かおり先生の指導案を実際にもらうことができ勉強になりました。</p> <p>○模擬授業のポイントや指導案のポイントを聞く事ができて良かったです。また、自分なりに指導案を作成したいと思いました。</p>
感想／要望	<p>○たくさんの質問をすることができ、悩みが解決できました。</p> <p>○「養護教諭が行う授業は『生活の中で必要な保健指導』』という研修の始めに講師が言っていた言葉が印象に残りました。（今まで、保健の授業は担任とのTT教科書の内容を教えるという思いでやっていたので・・・）関わる子ども達に身につけさせたい力を指導する大切さが学べました。</p> <p>○他の人の「めあて」や「まとめ」を聞くことができ考えが広がりました。</p> <p>○申し込んで良かったです！心強かったです。学校でTTの授業をする事は少ないのでハードルを高く感じていましたが、チャレンジしてみようと思いました。</p>



研修名	臨時的任用研修会研修会【保健体育】模擬授業	
日時	2020年8月3日(月) 14:30~17:30	
研修の目的	保健体育科の教員採用2次試験対策の模擬授業を実施し、略案の作成方法や模擬授業のポイントを学ぶことで、体育科教諭の指導力を高める。	
テーマ	保健体育教諭の「模擬授業づくり」講義と演習	
講師名	大城正章 今帰仁村立今帰仁中学校 校長 新城 敦 北部教育研修センター 特命准教授	
会場・場所	北部生涯学習推進センター（研修室）	
研修内容	1 模擬授業作成に当たって 新城 敦（北部教育研修センター） 2 模擬授業のポイント 3 効果的な模擬授業とは 4 演習（模擬授業の構想を立てる） ①本時の目当てとまとめの構想 ②めあての提示・・・実践 ③指導助言 大城正章（今帰仁中学校 校長） 5 情報交換及び質疑応答	
成果／活用策	<p>○いつもと違う環境の中で模擬授業を行うことができ、自分の資質向上につながりました。</p> <p>○採用試験に「合格」することが成果です。</p> <p>○緊張感のある中で授業ができたので、とても勉強になりました。基本的なワードや1時間の中で、どう完結すれば良いのかについてもっと考えていきたい。</p>	
感想／要望	<p>○数名の先生方の授業や意見を聞く事ができて良かった。</p> <p>○他の先生方の授業から学ぶことが多くあった。</p> <p>○「身につけさせたい力」につなげるために、どう展開していくのかをもっと考える必要がある。何回も授業を見てもらって、自分の型をつくっていききたい。ありがとうございました。</p> <p>○今後も同様の研修をしていただきたいです。</p> <p>○国頭地区の先生方にも参加してもらって勉強したいと思いました。本務の先生方の授業を見てみたいと思った。</p>	



研修名	オンライン授業づくり研修会【Zoomによるオンライン研修】	
日時	2020年9月10日(木) 15:00~17:00	
研修の目的	コロナウイルス等による影響から、オンライン授業の需要が増加してきており、小・中学校の先生方を対象にオンライン授業の進め方や資料作成及び配信についての研修を行い、多様な指導方法を提案する。	
テーマ	オンライン授業作成研修会【Zoomによるオンライン研修】	
講師名	中里 収先生・佐久本 功達先生・天願 健先生（名桜大学 教授） 草野 泰宏先生・上門 要先生（名桜大学 准教授）	
会場・場所	北部生涯学習推進センター（研修室）配信、各学校及び研修場所	
研修内容	<p>1.プレゼンテーションソフトを活用した動画音声付き授業コンテンツの作成</p> <p>①これまでの遠隔授業システムの例</p> <p>②授業収録システムの例</p> <p>③プレゼンソフトを活用した授業コンテンツの作成例</p> <p>④コンテンツ作成の実際</p> <p>2.One note を活用したタブレットの活用例</p> <p>①タブレットに直接手書きができる方法等</p>	
成果／活用策	<p>○パワーポイントを使った動画作成やワンノートの使い方など、今後、活用できそうで大変勉強になりました。</p> <p>○パワーポイントや YouTube での教材作成やオンラインの活用は教員の持っているスキルを十分に生かしながら、今後活用できると感じた。パワーポイントの新しい機能やマイクロソフトのチームズは、実際に使いながらより良い授業展開ができるようにしていきたい。</p> <p>○パワーポイントに動画を張り付ける機能があることを知りませんでした。簡単にできたことが驚きで YouTube に動画を上げる方法も初めて知りました。</p> <p>○OneNote を使って板書のように使えるのはいいかなと思いました。</p> <p>○Microsoft Teams を初めて使った。使い勝手は悪かったわけではないが県立高校のように無料で使える前提がなければ、あまり使うメリットはないかと感じた。実際に大学で遠隔授業に日々取り組んでいる先生方の実際的な遠隔授業の作り方や組み立てに関しては参考になりました。</p> <p>○パワーポイント資料の動画作成の方法について知ることができた。</p> <p>○マイクロソフト・チームズの活用について知り、体験することができた。</p>	
感想／要望	<p>○実際に動画を共有してもらい、手順等が見れたことがとても分かりやすかったです</p> <p>○新しい授業の作り方のヒントになる内容が盛りだくさんで、興味深かった。</p> <p>○具体的な授業コンテンツの作り方をオンライン上でみることで良かったが、手順や方法の資料があれば助かります。現段階では、「こんな事が出来るんだ。」くらいで実際に作れるのか不安。</p> <p>○大学生なら、パソコンやスマホ等でのオンライン授業も可能と思いますが、小・中学校の現場では家庭でのオンライン授業を導入するまで時間が掛かり、IT 担当はいるものの、専門の知識やノウハウも少なく課題が山積している。市町村によって状況が違うこともネックである。</p> <p>○学校外へ移動せずに受講できるオンライン研修はとても助かります。</p> <p>○Google education や Microsoft teams の活用を双方向でできるといい。</p> <p>○勤務校ではクロームブックの導入が決まっているのでクロームブックやグーグルクラスルームの活用に関する研修があれば受けたいです。</p> <p>○可能であれば、実際にパワーポイント資料を作成して、どのように授業で活用しているか実践例を知りたい。（各学校、特に小学校での取り組み）</p>	

## ◆ 教員養成講座実施報告

新型コロナウイルス感染防止のため、4月・5月は研修室での対面、一斉講座は中止していましたが、当センターのホームページに問題を掲載し、各自で試験対策に取り組んでもらいました。沖縄県の自粛要請が解除されたことから、6月1日より「2020年教員養成講座参加ガイドライン」に基づき、対面での講座を実施することができました。なお、予防のため集団での受講を希望しない受講生については、問題・解答を持ち帰って自宅で学習することも奨励しました。

## 1. 2020年度実施 教員候補者選考試験 第一次試験対策

## (1) 教職教養・一般教養講座（全62時間）

	領 域 名	実施回数
1	教育法規：教育基本法、学校に関する基本法等	4
2	答申・県の施策、教育施策等	4
3	学習指導要領（小・中・高校、特別支援学校教育課程）	4
4	特別支援教育、安全教育、健康教育	3
5	生徒指導、進路指導	1
6	一般教養、教育心理	8
7	論作文の書き方	0
8	チャレンジ問題（教職教養、一般教養）	5
9	全国模擬試験	1
10	一般教養（理科）	1

## (2) 専門教養講座（全82時間）

	教 科	実施回数
1	小 学 校 *	12
2	中・高 数 学	6
3	中・高 保 健 体 育	5
4	小・中・高養護教諭	6
5	中・高 英 語	6
6	中・高 社 会	6



講座の様子

\*小学校の教科は、算数・理科・社会・音楽の4科目を実施しました。

## 2. 2020年度実施 教員候補者選考試験 第二次試験対策講座（全191時間）

実施：令和2年7月20日（月）～9月12日（土） 全144回

	項 目	実施回数
1	面接調書の記入	3
2	小学校英語	2
3	模 擬 面 接	57
4	英 語 面 接	14
5	模 擬 授 業	53
6	論 作 文	15

【お問合せ先】 北部教育研修センター  
TEL0980-51-1251（担当 新城、大城）  
メールアドレス atsu.shinjo@meio-u.ac.jp  
sa.osiro@meio-u.ac.jp

## 編集後記

研修日程が何度も変更になり情報提供が遅くなり、ご迷惑をおかけしましたことをお詫び申し上げます。今年度は、少ないながらも研修参加者の感想から、研修への参加が今後の授業に活用できるというコメントや北部で研修が受けられる機会を増やして欲しいという要望もあります。今後の課題として検討して参ります。今後とも皆さまのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。